

経済学部・経済学研究科ディプロマポリシー（学位授与の方針）

① 経済学部

一橋大学経済学部は、経済学とその関連分野における専門的な知見と、豊かな教養に支えられた幅広い視野を持ち、的確な現実感覚と創造性を備え、自ら考える力を持って課題の発見と解決に努め、日本語と英語の両方で優れたコミュニケーション能力を持ち、ビジネス・公共政策・学術研究等の現場で活躍するリーダーとなりうる人材の育成を目指しています。

その目標を達成するために、4年間以上在籍して必修（ないし選択必修）のコア科目を含む必要単位を取得し、一定水準以上の成績を修め、後期ゼミナールに2年間以上所属して卒業論文を提出し、論文審査に合格した者に対して、学士（経済学）の学位を授与します。

② 経済学研究科修士課程専修コース

21世紀に入り、私たちは経済・社会の大きな変化に直面し、解決すべきさまざまな課題を抱えています。こうした現代的課題の解決には、理論と実証に基づく現状の正しい理解と評価から導かれる政策提言・制度設計が求められます。経済学は課題の解決に向けた考え方とそのための分析道具・科学的手法を提供する学問です。

一橋大学大学院経済学研究科は、修士課程専修コースにおいて、経済学とその関連分野における最先端の理論と統計・計量分析スキルに基づく高度な専門性を持ち、的確な現実感覚と課題発見・解決能力を十分に備え、国際社会で活躍できる職業人の育成を目指しています。特に、専門職業人養成プログラムにおいては、「公共政策」、「統計・ファイナンス」、「地域研究」、「医療経済」の分野について高度な知識と能力を備えた専門職業人を育成します。

上記の目標に応じて、修士課程に原則として2年間以上（5年一貫コースの学生は1年間以上）在籍し、演習（ゼミナール）に1年間以上所属し、中級ないし上級コア科目を含む所定の単位を取得し、修士論文を提出して論文審査・口頭試験に合格した者に、修士（経済学）の学位を授与します。

③ 経済学研究科修士課程研究者養成コース・博士後期課程

21世紀に入り、私たちは経済・社会の大きな変化に直面し、解決すべきさまざまな課題を抱えています。こうした現代的課題の解決には、理論と実証に基づく現状の正しい理解と評価から導かれる政策提言・制度設計が求められます。経済学は課題の解決に向けた考え方とそのため分析道具・科学的手法を提供します。私たちの社会経済システムの再構築のために、経済学の考え方と手法は不可欠です。研究者には、それぞれの専門分野で研究の先端を切り聞き、理論・実証とその手法において新たな知見を生み出すことが求められます。

一橋大学大学院経済学研究科は、修士課程研究者養成コースと博士後期課程を通じて、経済学とその関連分野における最先端の理論と高度な統計・計量分析スキルに基づいて専門分野の研究の先端を切り拓き、世界の第一線で活躍できる研究者、および官庁や民間の研究機関、国際機関等で調査・研究業務に従事し、現実社会の諸課題の解明と解決に貢献できる研究者の育成を目指しています。

この目標に応じて、まず修士課程に原則として2年間以上（5年一貫コースの学生は1年間以上）在籍し、演習（ゼミナール）に1年間以上所属し、中級ないし上級コア科目を含む所定の単位を取得し、修士論文を提出して論文審査・口頭試験に合格した者に、修士（経済学）の学位を授与します。博士後期課程に進学するためには、さらに所定の進学資格試験に合格する必要があります。また、博士後期課程に原則として3年間以上在籍し、演習（ゼミナール）に参加し、主たる指導教員を含む論文指導委員会の指導を受け、優れた博士学位論文を提出し、その口述試験と最終試験に合格した者に、博士（経済学）の学位を授与します。